

# 策定プロセス訪問調査事例

大分県宇佐市

## 宇佐市母子保健計画

### 1 宇佐市の概要

- 大分県北部（国東半島）、人口 50,023人、面積約180平方キロメートル  
高齢化率21.7%、年間出生数約500人、八幡宮総本社の宇佐神宮
- 保険予防課 母子保健担当3名 老人保健福祉計画の策定経験有り
- 母子愛育会 全市（17ヶ所）を網羅し、活動は活発。
- 所轄保健所 宇佐高田保健所（1市2町 管内人口 63,637人）

### 2 計画のアウトプットの特徴

#### 別紙資料

### 3 訪問調査で分かった策定プロセスの売り

- ◎関係機関との連携がより強化された。
- ◎住民の具体的な意見が計画に反映された。
- ◎事業の目的・位置づけが明確化されたため、事業の実施に振り回されず、課題を解決するために、事業の活用を考えるようになった。
- ◎主体的かつ熱心に計画づくりに関わっている市町村に対しても、保健所が積極的に関わることによって、計画策定に大きな成果をもたらすことが明らかとなった。

### 4 各策定段階の促進因子

#### 1) 準備段階、合意形成

- ・トップの理解を得るための担当課や保健婦の努力、加えて保健所長の支援。
- ・スタッフ間で、コンセンサスを十分に図るために、話し合いの場をできるだけ確保することに努力。
- ・策定委員を依頼する以前に、関係機関の会議に「根回し」のために積極的に参加し、コンセンサス図る事前の努力をしている。
- ・助役（老人保健福祉計画当時は財政課長）をトップにした全市組織を網羅した策定委員会と実働を意識した作業部会の設置。

## 2) ニーズ把握

- ・母子愛育会が市の全地区（17ヶ所）にあり、全国的に見ても非常に活動が活発であり、意見を汲み上げやすい状況があった。
- ・作業部会員として住民代表が参加。
- ・妊婦や乳児・幼児・小学校の母親へのアンケート調査の実施や、障害児の親の会での意見聴取など、子育てに関わるいろいろな立場の住民から、具体的な意見を積極的に入手など、住民の声を反映させようとする姿勢。
- ・計画のタイトル「大空へはばたけ宇佐っ子」は住民の発案。
- ・住民への周知方法については、今後の重要課題として検討中（ダイジェスト版の作成）。

## 3) 計画化

- ・助役をトップにした関係機関との検討会で策定する仕組みが確立していた。
- ・市理事者を始め、関係者間で、成功事例として認識されていた。
- ・母子保健計画担当保健婦が老人保健福祉計画の策定にも参画していた。

## 4) 施策の実現

- ・育児相談や育児サークルの支援など、子育て支援事業の強化。
- ・各事業やデータの連携による、個々のフォローアップの充実。
- ・保育園との連携強化。エンゼルプランへの保健分野の積極的参加。

## 5) 住民参加

ニーズ把握と同様

## 6) 保健所の役割

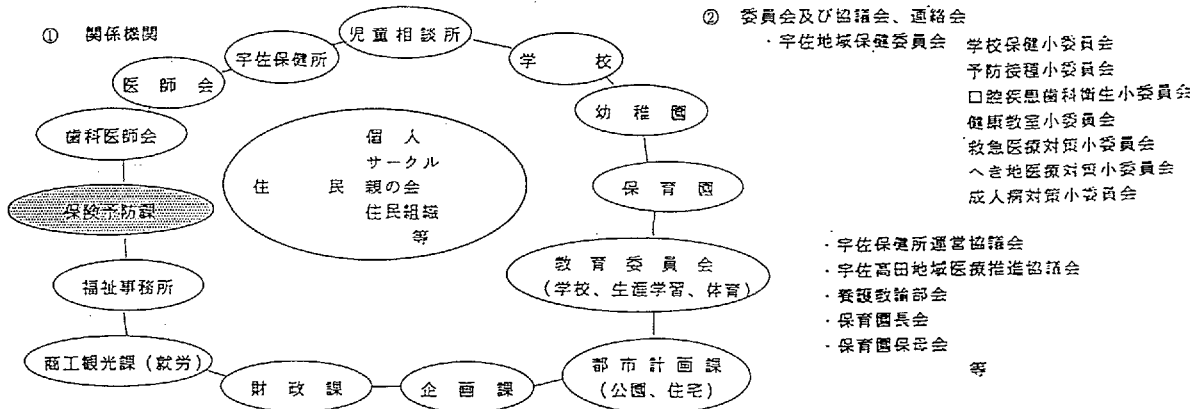
- ・保健所長の強力なリーダーシップ。
- ・市首長、医師会など関係機関への、母子保健計画の重要性に関するレクチャー。
- ・「目的設定型の計画づくり」の導入と、管内保健婦会等研修による人材育成、及び技術支援。
- ・策定委員・作業部会員として関わるだけでなく、プロセス全般を通じた、市と一体となった取り組み。

# 宇佐市母子保健計画概要

- 表 題 見出しを「大空へはばたけ宇佐っ子」とし、その下に宇佐市母子保健計画と記載している。
- 構 成 全体を4章構成として、第1章「計画策定にあたって」、第2章「計画の基本的な考え方」、第3章「現状と目標及び具体的施策の展開」、第4章「ネットワーク」及び参考資料としている。本文32ページ、参考資料29ページ
- 計画の期間 平成9年度を初年度とし、平成13年度を目標年度としている。
- 計画の基本 基本理念を「ささえあい、心豊かな子どもが育つ町づくり」とし、次のとおりの基本目標と具体的目標を掲げ計画を推進することとしている。

I 安心して妊娠出産できる	1 父性母性が育つ
	2 家族の理解がある
	3 地域や職場の理解がある
II 家族みんなで子育てできる	1 母親が仕事と子育てを両立できる
	2 父親が子育てに参加できる
	3 祖父母が育児に参加できる
	4 家族が地域と交流できる
III 地域ぐるみで子育てできる	1 気持ちにゆとりをもって子育てできる
	2 病気の時も安心
	3 子育てにかかる経済的な負担が減る
	4 子育てについての悩みの相談ができる
	5 安心して屋外で遊べる
	6 地域間に交流がある
	7 障害をもつ児が安心して地域で生活できる
IV 明るく元気な子どもが育つ	1 丈夫な体をつくる
	2 豊かな人間性が育つ
	3 自主性が育つ
	4 地区に親しむ
	5 事故を防げる

- 現状と目標及び具体的施策の展開 別紙様式によりアンケート結果、住民の声も併せて整理している。
- ネットワーク 計画策定の中で整備された連携体制を活かし事業を実施していくことにしている。



## 母子保健事業実施計画

母子保健事業実施計画

※太字は新規事業及び実施回数の増加

	平成8年度実施	平成9年度計画	平成13年度(最終年度)計画
保健指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>お母さん教室 37-4(9回)</li> <li>離乳食教室 4回</li> <li>親と子のふれあい広場 3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お母さん教室 47-4(10回)</li> <li>離乳食教室 4回</li> <li>親と子のふれあい広場 3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お母さん教室 67-4(12回)</li> <li>離乳食教室 4回</li> <li>親と子のふれあい広場 3回</li> <li>妊前学習班</li> <li>インフルエンザなどの情報提供</li> </ul>
個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児相談 10回</li> <li>電話相談 適宜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児相談 12回(育児学級併設)</li> <li>電話相談 10回</li> <li>集団予防接種会場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児相談(育児学級併設) 12回</li> <li>集団健康会場併設相談 48回</li> <li>電話相談 採用電話の開設</li> </ul>
家庭訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠婦訪問 適宜</li> <li>乳幼児訪問 適宜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠婦訪問 適宜</li> <li>乳幼児訪問 適宜</li> <li>新生児訪問 第1子</li> <li>障害児の家族支援 保健所と連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠婦訪問 初回妊娠婦及び必要者 適宜</li> <li>乳幼児訪問 第1子及び必要者 適宜</li> <li>新生児訪問 保健所と連携</li> <li>障害児の家族支援 健康障害のおそれのある児童生徒と家族支援</li> <li>学校特に養護教諭と連携</li> </ul>
医療機関		<ul style="list-style-type: none"> <li>妊産婦健康診査 受診券2回</li> <li>乳幼児健康診査 受診券2回</li> <li>超音波健康診査 3.5歳以上妊婦後期1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊産婦健康診査 受診券2回</li> <li>乳幼児健康診査 受診券2回</li> <li>超音波健康診査 3.5歳以上妊婦後期1回</li> </ul>
健康相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.6歳児健診 12回</li> <li>お母さん歯科健診 12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳児健診(10月) 12回</li> <li>1.6歳児健診 12回</li> <li>お母さん歯科健診 12回</li> <li>3歳児健診 12回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳児健診(4月) 12回</li> <li>10月) 12回</li> <li>1.6歳児健診 12回</li> <li>お母さん歯科健診 12回</li> <li>3歳児健診 12回</li> </ul>
地区組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健推進員育成 愛育班育成</li> <li>育児サークル交流会 育児サークル育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健推進員育成 愛育班育成</li> <li>育児サークル交流会 育児サークル育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健推進員育成 愛育班育成</li> <li>育児サークル交流会 育児サークル育成</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳 栄養強化事業</li> <li>すこやか赤い糸事業</li> <li>予防接種事業</li> <li>乳幼児医療費助成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳 栄養強化事業</li> <li>すこやか赤い糸事業</li> <li>予防接種事業</li> <li>乳幼児医療費助成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳 栄養強化事業</li> <li>すこやか赤い糸事業</li> <li>予防接種事業</li> <li>乳幼児医療費助成</li> <li>保育園児連絡会(仮名)</li> <li>児童生徒連絡会(仮名)</li> <li>保育園との連携</li> <li>学校との連携</li> </ul>

### 安心して妊娠できる

- ・妊娠前から子育てを学べる場がある
- ・地域で多くの子供が生まれる
- ・お産の時の上の子をあずかってもらえるところがある

### 安全な出産ができる

- ・誰でも出産までに定期的に健診が受けられる
- ・妊婦自身が健診の必要性を理解する
- ・妊婦に対して職場の理解がある
- ・妊婦自身が健康状態を理解し悪いときには悪いと職場で言える
- ・産前産後の休暇が確実にとれる
- ・妊娠中に休業しても経済面の保障がある
- ・切迫流産の時に上の子を預かってもらえる所がある

### 母親が仕事と子育てを両立できる

- ・子育て中、仕事を5年でも7年でも休んでも職場に復帰できる
- ・働いていても子育て中は真剣に子供とむきあえる
- ・働いていても3～4歳位までそばでみれる
- ・P T Aの休みみごとれる

### 気持ちにゆとりをもって子育てできる

- ・美容院や買い物にいくとき子供を短時間あずけられる場所がある
- ・自分が病気のときにも、子供をあずけられる場所がある
- ・イライラしない育児ができる
- ・両親にゆとりがある
- ・ストレス解消の場がある

### 父親が子育てに参加できる

- ・父親の手伝いがある
- ・父親が子供とお風呂に入ったリスキミングがとれる
- ・父親が子供のおむつをかえてくれる
- ・男性の育児休暇がとれる
- ・父親が子供と接する時間がとれる
- ・父親にゆとりがある

### 家族みんなが子育てできる

- ・3世代同居して祖父母に育児を手伝ってもらえる
- ・祖父母の育児の知恵をかりる
- ・同居の人も別居の人も祖父母に子供があずけられる
- ・ふだん朝夕家族みんななどで食事ができる

### 地域ぐるみで子育てできる

- ・近所の人に子育ての手伝いをしてもらえる
- ・他の子供と接する機会がある
- ・団地の人とも交流できる

### 子育てについての悩みの相談ができる

- ・保育園にかよわせない母親も保育園に遊びにいける
- ・親や子が集まれる場所がある
- ・児童館や公民館など地域の人がいる場所いつでも親も子もいける
- ・公園や遊び場が近くにある

### 安全に遊べる

- ・小学生が放課後こそせる、図書館や遊び場や子供会がある
- ・公園で安心して遊べる
- ・定期的に遊具の点検がある
- ・歩道の段差がなくベビーカーがスムーズにおせる
- ・歩いているところに公園がある
- ・危険な場所に信号機がある

### 心も健康な子供が育つ

- ・あいつができる子供になる
- ・地域の伝統を次世代についていける
- ・地区になんていこうとする気持ちがある
- ・地域に遊びを指導してくれる人がいる
- ・うちだけ良かったらという考えではなく他の家庭も見れる
- ・親子で絵本の読み聞かせがいつでも聞ける
- ・子供に親としての意見が伝えられる
- ・子供との会話ができる親子関係がもてる
- ・親が子供と接する時間を積極的にとる
- ・子育てに責任がない一親の教育を

### 障害をもつ兄が安心して地域で生活できる

- ・障害をもつ子供が保育園の運動会に参加できる
- ・障害をもつ人が働ける施設がある

### 元気な子供が育つ

- ・遊びのとらえかたが昔と違う
- ・昔の親は山に行って木を切って遊ばせていた
- ・乱暴にも育てていた
- ・子供の遊びの環境が変わった
- ・今は親が危険と思いい、室内遊びが多い

### 病気の時も安心

- ・病院が夜間や休日なども、いつでも受診できる
- ・子供が病気のとき、気がねなく休暇がとれる
- ・子供が病気の時も預けられる場所がある

### 子育てにかかると経済的な負担が軽減できる

- ・保育料が安くなる
- ・3人目、3歳まで保育料無料年齢をひきあげて

Ⅲ 地域ぐるみで子育てができる  
Ⅳ 1-1 気持ちにゆとりをもって子育てできる

現 状	現在の事業と住民の声																												
<p>出産後、家に帰ったときから引き続く育児による心身の疲労、育児への不安により、育児ノイローゼをおこす母親や、子どもへの接し方の無器用さ、また最近では乳幼児の虐待等も問題となっっています。</p> <p>宇佐市のアンケートでも、乳幼児を持つ親は、子どもと一緒にいる事は楽しいけれど、子どもの事でストレスがたまることが多い現状がうかがえます。</p> <p>また、母親は当然必要な用事以外では子どもから離れる事は出来ず、自分の時間はほとんど無いと言った現状です。また子どもと一緒にいる事があまり楽しくない人が2%いることも注目を深く見守っていかねばなりません。</p>	<p>親と子のふれあい広場(H8)</p> <table border="1"> <tr> <th>回数</th> <th>内 容</th> <th>参加数</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>手作りおもやつ</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>手作りおもちゃ</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>小児科医師の話</td> <td>32人</td> </tr> </table> <p>乳幼児相談</p> <table border="1"> <tr> <th>年 度</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> <tr> <td>H7</td> <td>115人</td> </tr> <tr> <td>H8</td> <td>101人</td> </tr> </table> <p>ゆとり創造月間啓発(商販)</p>	回数	内 容	参加数	1	手作りおもやつ	38人	2	手作りおもちゃ	28人	3	小児科医師の話	32人	年 度	参加延べ人数	H7	115人	H8	101人										
回数	内 容	参加数																											
1	手作りおもやつ	38人																											
2	手作りおもちゃ	28人																											
3	小児科医師の話	32人																											
年 度	参加延べ人数																												
H7	115人																												
H8	101人																												
<p>子どもと一緒にいること</p> <table border="1"> <tr> <td>楽しい</td> <td>66%</td> </tr> <tr> <td>わりに楽しい</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>あまり楽しくない</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>楽しくない</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>育児のことで悩まれている</p> <table border="1"> <tr> <td>よくある</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>時々ある</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>あまりない</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>ほとんどない</td> <td>12%</td> </tr> </table>	楽しい	66%	わりに楽しい	32%	あまり楽しくない	2%	楽しくない	0%	よくある	15%	時々ある	62%	あまりない	11%	ほとんどない	12%	<p>住民の声</p> <p>子どもが小さいときは自分と子どもをみたい、でも家にいて常に子どもと接しているとストレスがたまります。1-2時間子どもを預かってくれる所があるといい。</p> <p>仕事をしていたときは自分の時間もとれ、一人にもなれた主婦にならなくて自分の時間が取れない。</p> <p>自分の病気の時など一時保育をしてくれる所があるといい。ベビーカーを派遣してくれる会社や団体があればいい。</p>												
楽しい	66%																												
わりに楽しい	32%																												
あまり楽しくない	2%																												
楽しくない	0%																												
よくある	15%																												
時々ある	62%																												
あまりない	11%																												
ほとんどない	12%																												
<p>子どもと遊ぶ時間を預けられる</p> <table border="1"> <tr> <td>よくある</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>時々ある</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>あまりない</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>ほとんどない</td> <td>47%</td> </tr> </table> <p>誰に預けられる</p> <table border="1"> <tr> <td>夏 物</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>美容院</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>趣味</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>映画やコンサート</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>旅行</td> <td>4%</td> </tr> </table>	よくある	5%	時々ある	28%	あまりない	20%	ほとんどない	47%	夏 物	67%	美容院	39%	趣味	9%	映画やコンサート	4%	旅行	4%	<p>誰に預けられる</p> <table border="1"> <tr> <td>夫</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>夫以外の家族</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>友人</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>近所の人</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4%</td> </tr> </table>	夫	40%	夫以外の家族	54%	友人	1%	近所の人	1%	その他	4%
よくある	5%																												
時々ある	28%																												
あまりない	20%																												
ほとんどない	47%																												
夏 物	67%																												
美容院	39%																												
趣味	9%																												
映画やコンサート	4%																												
旅行	4%																												
夫	40%																												
夫以外の家族	54%																												
友人	1%																												
近所の人	1%																												
その他	4%																												

目標(具体的目標)	事業の展開				
<p>同じ年頃の子どもを持つ親の集まれる場所の提供に努めると共に同じ悩みをもつ親の会等育児サークルの育成や支援に努めます。</p> <p>(子どもごとでイライラする) する人がへります。</p>	<p>(1)『親と子のふれあい広場』(前年までの乳児相談を含む) いつでも誰でも気軽に集まれる場所を提供します。</p> <p>ポイント 1、親同士や親と子の触れ合いの場 2、育児の相談の場 3、情報の収集の場 4、親の勉強の場</p> <table border="1"> <tr> <td>親と子のふれあい広場(育児学級)</td> <td>年間12回実施</td> </tr> <tr> <td>毎月1回</td> <td></td> </tr> </table>	親と子のふれあい広場(育児学級)	年間12回実施	毎月1回	
親と子のふれあい広場(育児学級)	年間12回実施				
毎月1回					
	<p>(2)『育児サークルの育成支援』</p> <p>どんなサークルの集まりを通して自立的に育成、支援に内容ごとと集まりを通して自立的に育成、支援に努めます。</p> <p>自主的な子育てサークル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども広場 乳幼児を持つ親が主体で、毎週1回、月当番により楽しみ会等を行っている。</li> <li>絵本の部屋 小学生を持つ親が主体で、絵本の読み聞かせ等、年に数回開くと共に、要望する所に出張も行なう。</li> <li>イスリーママ 乳幼児を持つ親が主体で、会報紙による子育て情報の交換をしている全国的組織</li> <li>駅川母親学級 小学生を持つ親が主体で、月1回程度勉強会等を行っている</li> </ul>				
	<p>(4)『一時保育の推進』</p> <p>平成9年度エンゼルプランの中で、一時保育実施を提言してまいります。</p>				
	<p>(5)『シルバークンセンターへの提言』</p> <p>在宅保育や看護婦などのシルバークンセンターの登録などを推進し、一時保育や派遣制度の確立のため母親の要求を声として上げてまいります。</p>				
	<p>(6)『育児ボランティア』の育成</p> <p>ボランティア登録を関係課に提言してまいります</p>				

# 母子保健計画策定プロセスに関する調査票

市町村名 (大分県・宇佐市)

記載担当者名 宇佐市保険予防課 加来保健婦

## I. 事例の概要

事例検討にあたって理解しておくべき背景

人口：50,023人(8.10.1現在) 世帯数：17,354世帯(8.10.1現在)、高齢化率21.7%、年間出生数約500人、面積：177.8km<sup>2</sup>

地理的条件：大分県の北部の国東半島のつけ根に位置し、周防灘に面した穀倉地帯であり、全国4万の八幡宮の総本社である宇佐神宮を有しているという昔ながらの集落とマンションの立ち並ぶ地域との相共存する地域である。

社会資源等：小児科のある病院が3、産婦人科のある病院が2、へき地中核病院として宇佐高田医師会病院がある。

管轄保健所：宇佐高田保健所

管内人口は1市2町で63,637人(8.10.1現在)、世帯数22,048(8.10.1現在)、面積約438km<sup>2</sup>である。8年度から業務担当制になっている。

その他：宇佐市の母子保健担当は3人で、福祉課が策定した老人保健福祉計画の策定にも関与していた。

宇佐市の老人保健福祉計画の策定の際に、助役をトップとした関係課、医師会や自治会等の関係組織が検討策定するという仕組みが確立されていた。

宇佐市の老人保健福祉計画については、それにより介護支援センターの整備、ヘルパーの確保が進むなど地元市町村として評価しており、成功例として認識されていた。

目的設定型の計画づくりについては、平成7年の市町村保健婦協議会で岩永先生を招いた事例検討等をしており、既にある程度の知識があった。

目的設定型の計画づくりを十分に指導できる者(保健所長)が身近にいた。

愛育班が市の全地区(17)にあるなど、その活動が全国的にみても非常に活発な地域であり、それにより地域の意見を汲み上げやすい条件が整っていた。

市役所の隣に保健所があるため、保健所との連携が容易であった。

## II. 計画策定の準備

### ◆計画策定の目的・手法等の合意形成

合意形成

8年5月中旬に母子保健計画を8年度中に策定するよう県から文書で通知があり、それを受けて次のとおりの流れで策定に向けた合意形成を図っていった。

宇 佐 市 役 所		県 又 は 宇 佐 高 田 保 健 所	
年月日	内 容	年月日	内 容
7. 末	課内打合せ(目的設定型での計画づくりについて課長に理解を求めた。)	5. 20	管内保健婦研究会(母子保健計画策定のための勉強会保健所長が講師)
8. 1	エンゼルプランや障害者プランと母子保健計画の相互の関係について、民生部長、課長、福祉事務所長が協議を行った。	7. 25	同研究会は、その後8月を除き毎月1回開催され、母子保健計画策定の進捗管理を行う場となった。 県担当者会議(保健婦及び担当事務者に対する目的設定型の研修、宇佐保健所長が講師) 以後、逐次協議をしながら進めていった。
8. 21	エンゼルプランと障害者プランは、翌年度に策定することとなった。		
8. 22	課内打合せ(母子保健計画の単独での策定決定、計画検討組織の編成、目的設定型の計画手法、予算措置等についての検討協議)		
8. 23	課長から助役に計画の主旨、目的設定型の計画づくり体制整備を説明し了解が得られた。説明会を兼ねた準備会の開催も決定した。	8. 末	策定準備会の打合せ
9. 3	母子保健計画準備会(保健所長が講師となり母子保健計画策定意義の周知を行うとともに、策定体制、進め方等を検討する。) 係長と保健婦が健康づくり住民組織の長に計画策定の主旨を説明し了解を得る。	9. 3	母子保健計画準備会(保健所長が講師となり母子保健計画策定意義の周知を行う。)
9. 末	課内打合せ(第1回策定委員会並びに作業部会合同会議の持ち方)		
10. 3	保健所との打合せ 以後、委員会、作業部会ごとに課内打合せを行なう。	10. 3	市の策定事務局との打合せ
10. 初	係長と保健婦が策定委員の依頼、作業部会員の推薦をする。		
10. 16	助役・課内打合せ	10. 16	市の策定事務局との打合せ
10. 21	第1回策定委員会並びに作業部会合同会議(計画策定の主旨と宇佐市の現在の母子保健事業について説明するとともに、目的設定型の計画づくりの研修を兼ねて母子保健の抱える問題点と母子保健計画策定意義の学習を行った。)	10. 21	第1回策定委員会並びに作業部会合同会議(策定委員及び作業部会員として出席)

① 合意形成のキーマン、範囲及び手法

母子担当の保健婦が中心であるが、目的設定型での計画づくりについて十分に指導できる保健所長の存在が大きい。合意形成の手法は、助役や関係部課長に対する保健所長の説明や研修の実施である。

② 策定体制（10月21日に発足）

次のとおり、助役を委員長、教育長を副委員長とし、市役所内関係各部・課、学校、保育、医師会等関係機関により構成されている。（事務局 保険予防課予防係）

宇佐市母子保健計画策定委員会			
構成員職名	備考	構成員職名	備考
助 役	委員長	総 務 部 長	委 員
教 育 長	副委員長	民 生 部 長	〃
宇佐保健所長	委 員	経 済 部 長	〃
中津児童相談所長	〃	建 設 部 長	〃
宇佐郡市医師会長	〃	教 育 次 長	〃
宇佐郡市歯科医師会長	〃	議 会 事 務 局 長	〃
市議会文教委員長	〃	総 務 課 長	〃
宇佐市愛育会長	〃	企 画 課 長	〃
民生児童委員協議会長	〃	財 政 課 長	〃
小学校長会代表	〃	福 祉 事 務 所 長	〃
中学校長会代表	〃	保 険 予 防 課 長	〃
保育園長会長	〃	商 工 観 光 課 長	〃
母子保健推進員代表	〃	都 市 計 画 課 長	〃
主任児童委員会部長	〃	学 校 教 育 課 長	〃
		生 涯 学 習 課 長	〃
		体 育 振 興 課 長	〃

宇佐市母子保健計画策定委員会作業部会	
構成員職名	構成員職名
小 児 科 医 師	企画課 企画調整係長
産 婦 人 科 医 師	財政課 財政係長
宇佐保健所婦長	福祉事務所 福祉係長
宇佐保健所保健婦	保険予防課 予防係長
中津児童相談所職員	商工観光課 工務係長
愛 育 班 員	都市計画課 住宅係長
母子保健推進員	都市計画課 公園緑地係長
宇佐市小中学校PTA代表	学校教育課 学校教育係長
宇佐市保育園協議会代表	生涯学習課 生涯学習係長
宇佐市手をつなぐ親の会代表	体育振興課 体育振興係長
保 育 園 保 母	
養 護 教 諭	
子育てサークル絵本の部屋	
〃 子供の広場	
〃 イズリーマム	

③ 策定組織の開催状況

策定委員会（10.21、2.4、3.21の計3回開催）

作業部会（10.21、11.11、11.25、12.19、1.24、2.24、3.21の計7回開催）

〔課題・問題点・苦労したこと〕

- ・目的設定型の計画策定について課長や関係部課長に説明し理解を得ること。
- ・作業部会については、全員そろそろよう心がけていたため、日程等の調整に苦慮した。
- ・策定期間が短かったため会議の設定、準備等に苦労した。
- ・日常業務とは別に計画策定を行なうことから、事務局の話し合いの時間がとりにくかった。
- ◆その他、計画策定のための環境づくり
  - ・予 算 計画策定の予算を年度中とで要求したが、報償費のみで印刷製本費がなかった。
  - ・そ の 他 策定メンバーとの連携を図るため、策定委員として正式に依頼する前に、保健婦が積極的に関係機関の会議に参加するとともに自主グループの教室を開催した。

III. 地域の実態・住民ニーズの把握

地域の実態・住民のニーズ把握の視点の整理と共有化

宇 佐 市 役 所	宇佐高田保健所の関与	
内 容	内 容	
<p>作業部会において、目的設定型の手法を用いて、肩書き抜きで協議する。（第1回～第4回） 宇佐市の子供を取り巻く家族や環境がどうあったら良いか（＝目指す姿）を作業部会をグループに分けて、自由に意見を出し合う。</p> <p>↓</p> <p>事務局及び保健所スタッフで意見を項目ごとに纏める。</p> <p>↓</p> <p>纏めた項目の確認を行い、3グループでKJ法を用い同じ目標ごとに表題をつける。（纏めた結果が計画の骨子（項目＝計画の具体的目標、表題＝基本目標）となることに気付いた）</p> <p>↓</p> <p>グループで目指す姿を実現するための条件を出す。条件と現実とのギャップをみるため、アンケートの実施を決定</p> <p>↓</p> <p>グループでアンケート項目、対象、方法を検討する。</p> <p>↓</p> <p>調査結果の集計を事務局で表計算処理し、アンケートの結果を計画の骨子に合わせた形で表にする。</p> <p>↓</p> <p>アンケート結果を分析、検討し、ギャップを把握</p>	<p>住民参加</p> <p>作業部会会員として住民代表が参加</p> <p>育児サークルの集まりで目指す姿の意見を聴取</p> <p>作業部会会員として住民代表が参加</p> <p>作業部会会員として住民代表が参加</p> <p>妊婦と乳児、幼児、小学5年の子を持つ母親にアンケート実施</p> <p>作業部会会員として住民代表が参加</p> <p>障害を持つ親の会に参加し意見を聴取</p> <p>作業部会会員として住民代表が参加</p>	<p>作業部会としての参加 部会開催後の打合せ</p> <p>事務局とともに目指す姿を纏める。</p> <p>作業部会としての参加</p> <p>部会開催前の打合せ 作業部会としての参加</p> <p>部会開催後の打合せ（アンケートの検討） 部会開催前の打合せ 作業部会としての参加</p> <p>人口動態や母子保健に関する統計資料の提供</p> <p>部会開催前の打合せ</p> <p>作業部会としての参加</p>



#### IV. 計画（施策）化

##### ① 具体の対応方策に関する検討協議と関係者の合意形成

宇 佐 市 役 所		宇 佐 高 田 保 健 所 の 関 与
内 容	住 民 参 加	内 容
アンケート結果で判明したギャップについて、関係事業との関連を各課で聞き取りを行なう。（保健婦）		
↓ 策定委員会において、アンケート結果を報告し、計画に対する意見を得る。（数値目標の設定、父職の育児参加に向けての対策等）	住民代表が参加	保健所長が参加
↓ 策定委員の意見を踏まえた具体的施策の検討	作業部会員として住民代表が参加	部会開催前の打合せ 作業部会員としての参加 委員会・部会開催前の打合せ
↓ 関係各課の施策の再確認と計画案の作成（事務局）		
↓ 計画案を事前に配布してから、策定委員会において計画案を検討し、基本理念「ささえあい心豊かな子供が育つ町づくり」及び計画のタイトル「大空へはばたけ宇佐っ子」を決定するとともに、策定委員が計画の進捗状況の評価委員となることを決定	住民代表が参加 タイトルは育児サークルの母親の発案	作業部会員及び保健所長が参加

##### ② 内容（具体の目標、数値目標、評価指標）

お母さんがいきいきと楽しいと感じる度合いを目的としているので、数値目標の設定にはこだわらなかったが、委員から数値目標を入れるようにとの意見はあった。

また、初年度と最終年度の目標を掲げたが、年次計画は作成していない。

#### V. 計画の具体化

##### ・ 9年度予算への反映

新生児訪問、4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児健診の実施、インターネットでの育児サークルの紹介や事業実施のお知らせ、離乳食教室の毎月の実施、ふれあい広場として育児相談の場を毎月提供、妊婦教室とお母さん学級同窓会の合同開催による妊婦子育てふれあい教室の開催、親と子の遊びの教室の育児サークルとの合同開催

##### ・ 計画策定による事業への影響

保育園長会への参加、育児サークル間の交流会の開催、育児サークルの広報への掲載  
エンゼルプラン策定の検討委員として保険予防課から参加

##### ・ 10年度事業予定

乳幼児デイサービス事業、両親学級、歯科健診と連携することから健診項目の統一化

##### ・ 計画の進行管理

5年後にアンケートを実施し状況を見る予定。

計画の進捗状況の評価については、策定委員と同じ構成（肩書き）のメンバーで行なう。

##### ・ 住民関係機関への周知等

予算の都合のため住民への周知はできていない。（広報への掲載はしたが、ダイジェスト版の作成ができていない。）

#### VI. 全体を通じた事例のまとめ

計画策定には満足している。（できたものよりも目的設定型で計画を立てたことから、仕事の目的がはっきりし、何のために各事業をしているのかがわかったので、重点的に行なうべき事業や事業と事業の結びつきがスムーズに考えられるようになった。）（住民が宇佐市がこうなってほしいと自分の意見で発言できることにいきいきし、住民の具体的意見が計画の形になっていくことに作業部会のメンバーが驚きながらも充実した楽しい計画作りができた。）

関係機関との意思疎通が十分に図れたことから、会議の参加や連絡が新たに入るようになり、連携が強化された。（開業医、育児サークル、保育園長会等）

市の中でも縦割りではなく横に連携をとった事業展開が期待できるようになった。（企画課の総合計画への母子保健計画の反映、保健福祉検討委員会への出席依頼、福祉と連携した乳幼児デイサービス事業の事前調査、障害を持つ児等の情報交換、社会教育課からの補助事業の紹介）

育児サークルとの連携が密になり、育児不安の解消の場として有効に活用できるようになった。

市町村への業務の移譲が円滑に行なえ、市と保健所との役割も明確になり、連携が一層促進された。

##### ・ 計画の促進要因

①計画策定の準備段階の十分な確保②老人保健福祉計画の策定により計画策定における住民参加、他の課の参加の下地があった③計画策定における保健所との密接な連携、保健所による計画策定の十分な指導④保健所から首長、医師会等関係機関に対し説明することにより理解が得られやすかった⑤他課及び住民グループとの十分な意思疎通のための事務局、母子担当保健婦の普段の努力

##### ・ 保健所に対する希望

広域での支援、健診情報の把握のための協力関係の維持

##### ・ 国への希望

財源の支援（せっかく定着した事業の継続が困難となる。）

##### ・ 反省点

作業部会の行政代表は子育て中の若い世代とすることにより、一層活発かつ斬新な意見交換が期待できた可能性がある。